

査読基準に関する覚書

査読に当たる者は、下記の点を留意して査読を行うものとする。

1. 投稿論文を審査する場合には、下記の観点から総合的に評価する
 - 関連する学問分野への学術的貢献の可能性があるか
 - 論理構成が明確で、議論が一貫しているか、また、結論に説得力があるか
 - 分析に用いている手法やデータの扱い方が妥当かつ信頼性が高いか
2. 上記の点に関し、投稿時には不十分な場合、どのように修正すれば論文として評価される水準に達するかを出来る限り具体的な方法で示す。
<例>
 - 読むべき文献の提示
 - 修正すべき具体的な箇所と修正の方向性の提示
 - 学ぶべき手法の特定と参考とすべき情報
3. コメントは、前向きかつ建設的な態度で行う。
4. コメントを記載する際には、投稿者の視点に立ち、人格や研究姿勢に対する批判と受け取れる可能性がある表現や文言は極力避ける。